

つながる **声** のひろば

市役所への手紙や市ホームページの「市へのご意見」など、皆さんからいただいたご意見にお答えします。

今回は、史跡山居倉庫に寄せられた声にお答えします。

Q1 山居倉庫はなぜ国指定史跡になったのですか。

A1 山居倉庫は明治26年に建てられた米の保管倉庫で、現在も12棟の土蔵造倉庫群やケヤキ並木などが当時の姿を良好に残しています。庄内地域の米づくりの発展を支えた他、日本の米流通や経済を支える重要な役割を果たしました。こうした歴史的な価値が認められ、令和3年3月に国の史跡に指定されました。

Q2 山居倉庫は今どうなっていますか。

A2 市では、令和8年3月31日に史跡山居倉庫整備基本計画を策定しました。この計画は、山居倉庫が持つ史跡としての価値を大切に守りながら、より親しみやすく、訪れた方が利用しやすい場所として整備していくためのものです。

今後は本計画に基づき、11号棟・12号棟を中心に、山居倉庫の歴史や庄内の米づくりを楽しく学べる体験学習施設や観光案内と休憩機能を備えた総合案内施設の整備を進めていきます。

また建物の現況調査やケヤキ並木の保全計画の策定にも取り組み、長く大切に守り伝えていけるよう準備を進めていきます。

さらに、山居倉庫の歴史や価値を紹介する展示施設の整備や、建物そのものを見学できる保存展示施設の公開、散策路や案内サインの改善なども段階的に進めていく予定です。

山居倉庫が市民の皆さまや観光で訪れる方々に親しまれ、地域の魅力向上や観光振興にもつながる史跡であり続けることができるよう、今後も整備を進めていきます。



史跡山居倉庫整備基本計画 ▶



園文化政策課文化財係 ☎24-2994